

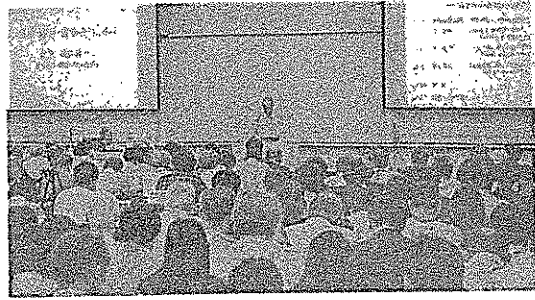
# 早大・東大でシンポ、集会

## 立憲主義守れ370人 早大

早稲田大学法学部主催のシンポジウム「立憲主義の危機に抗して」が16日、東京都内の同大学で開かれ、学者、学生など370人が参加しました。

樋口陽一東北大学・東京大学名誉教授は、安倍政権が知性を無視

・敵視しているとして、この態度が政治の危機を招き、違憲・違法を超えた無法状態にしていると批判。専門家の知性と市民の知性の連結が政権への抵抗になると語りました。長谷部恭男早大教授は、戦争法案を違憲と



早稲田大学法学部のシンポジウム「立憲主義の危機に抗して」で報告する樋口陽一東北大学・東京大学名誉教授＝16日、東京都内



東京大学人緊急抗議集会＝16日、東京都目黒区

する憲法学者の指摘を受け止めない政府与党の態度を批判。国家は個人相互の社会契約に

## 法案の阻止を宣言 東大

戦争法案の強行採決を阻止しようと東京大学関係者は16日、「東京大学人緊急抗議集会」(主催・同実行委

基づくものであるとするフランスの思想家ルソアの説を引きながら、日本国憲法という主権者・国民の社会契約を安倍政権が攻撃している、とのべました。水林彪早大教授は、

西洋の立憲主義成立の歴史を解説。日本の歴史の中でも、立憲主義と反立憲主義の不断の闘争が繰り返されてきたと指摘し、立憲主義を覆そうとする安倍政権を批判しました。

員会)を同大・駒場(目黒区)で開きました。集会は「民意よりもアメリカとの約束を優先するならば、もはや『私たちの政府』とは言えない：『私たちが政府』に回復させるまで行動し続ける」という「法案成立阻止の宣言」を採択。参加者は200人をこえました。同委員会主催の集会は3度目です。

学生の開催のあいさつ後、講演で島蘭進東大名誉教授は、SEALDs(シールズ)の反対運動に触れ「新しい運動が起こりつつあり、希望だ」と語りました。西崎文子同教授は戦争法案を「危険であり、粗悪であり、違憲だ」と指摘しました。元最高裁判事の浜田邦夫弁護士(東大卒)は安倍政権を厳しく批判しました。6月末に同実行委員会と呼びかけたアピールへの賛同者は957人(16日現在)になっています。

参加者は、集会后、国会前の抗議行動に参加しました。